

**事例 2 探究的な学習【情報の収集】 「社会に開かれた教育課程」と「カリキュラム・マネジメント」の視点を生かして、児童の視野を広げ、新たな気づきを引き出す事例**

- 学年 第6学年
- 探究課題 秩父の魅力とふるさとを愛する人々の思い（地域）
- 主な事例のポイント ※それぞれ実践例にて紹介
  - ①視点を変えた活動やふれあいを通じて、ふるさとの魅力に気付く「情報の収集」を行う。
  - ②調査活動の重要性を再認識するために外部機関と連携した「情報の収集」を行う。
  - ③地域人材と校内指導体制を生かして児童の多様な気づきを引き出す「情報の収集」を行う。

**1 単元名 秩父の魅力再発見！ふるさと PR 大作戦！！**

**2 単元目標**

ふるさとを舞台にした修学旅行をきっかけとして身近な地域の人や自然、観光資源などに関わる活動を通して、地域の特徴やよさ、それらを守り生かそうとする人々の思いや努力に気づき、「秩父の魅力」を伝えるための情報収集と整理・分析により課題を解決するとともに、地域社会の一員として郷土への誇りと愛着を育み、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

**3 児童の実態（省略）**

**4 教材について**

本校は、秩父盆地の中心部の市街地に位置する学校である。秩父夜祭をはじめとした伝統文化や豊かな自然に恵まれた秩父地域には、多くの観光客が訪れる。そこで生活する児童たちにとって祭りは身近な楽しみであるが、一方で地元の観光施設を楽しむ機会は意外と少ない。また、都市部や他地域への憧れをもって、進学や就職を機に秩父を離れていくことも少なくない。

本単元は、新型コロナウイルスの感染拡大防止が求められる中で、カリキュラム・マネジメントの視点に基づいて立案した地元での修学旅行を中心に構成している。身近な観光資源と地域のネットワークを活用した修学旅行をきっかけとして、ふるさとの魅力に触れ、主体的に調査・整理をしながら、最終的には「秩父の魅力」を外部に発信していけるようにしたい。

また、単元を通じて「秩父の魅力」をキーワードとして扱っていく中で、児童の新たな気づきや考えの変容を大切に指導する。そのために、本校の時間割運用や学校図書館との連携などの特色を生かしながら、地域や学校外の人材とも積極的に関わり、児童の視野が広がっていくような単元構成や情報の取扱い方を工夫していく。

そして、一連の学習活動の中で、探究的な学習の手法を学ぶとともに、ふるさとへの愛着と誇りを育てられるように指導を進めていきたい。



**5 単元の評価規準**

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①地域には、それぞれの自然環境や歴史、文化を生かした特徴やよさがあることを知るとともに、地域の人々の努力と工夫があることを理解している。 ②「秩父の魅力」を伝えるための調査活動を、相手や場面に応じた方法で適切に実施している。 ③地域に対する誇りと理解の深まりは、探究的な学習を進めてきたことの成果だと気付いている。	①修学旅行での学習や体験を通じて、課題を設定するとともに、課題解決に向けた見通しをもっている。 ②目的や相手、状況に応じて、効率的に情報を収集し、整理して蓄積している。 ③収集した情報を比較しながら分析し、共通点や相違点を見つけて地域の特徴やよさを整理し、考えている。 ④自分の考えや学習の成果を、相手や目的に応じて効果的に表現している。	①私たちの生活を支える地域の特徴やよさ、多くの人の思いを理解しようとしている。 ②自分とは違う視点や意見を受け入れながら、協働して学び合おうとしている。 ③地域との関わりの中で、誇りと愛着を育み、自分にできることを考えようとしている。


6 単元の指導計画と評価計画（70 時間扱い）

※「課題」：課題設定 「情報」：情報の収集 「整理」：整理・分析 「表現」：まとめ・表現

過程	○学習活動 ・児童の思考	・指導上の留意点 ○評価（評価方法）
課題 整理	<p>○オリエンテーションをする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の魅力って何だろう？</li> </ul> <p>○秩父に来たお客さんに、紹介したり、体験してもらったりするなら何がいいかを話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり、秩父夜祭りだよ！</li> <li>・自然の多さも魅力だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活経験や前学年までの既習事項などをもとに、秩父の魅力を考えられるようにする。</li> <li>・班別で話し合いをした後に、学級全体でも話し合う。その際、KJ法で分類することで、様々な意見を整理する。魅力として浮かぶことが祭りに集中していることや自然という漠然とした認識にも気付かせ、今後の学習課題へとつなげるようにする。</li> </ul>
課題	<p><b>課題①観光客の視点で 秩父の魅力を再発見しよう</b></p> <p>○秩父で実施する修学旅行の計画を知る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行が秩父でできるの!!</li> <li>・場所は知っているけど、行ったことがないよ。</li> <li>・こんな場所もあるの！おもしろそう!!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の修学旅行の計画を伝えるとともに、「秩父の魅力」というキーワードを意識付ける。</li> <li>・「観光客の視点」を意識させ、普段は見落としている「秩父の魅力」に目を向けられるようにする。</li> <li>・協力してくれる地域の人々の存在を意識させる。</li> <li>・外国語でアメリカの姉妹都市の小学生に秩父を紹介することや図工で描く風景画の題材にすることを伝える。 編 P188 指導計画作成の留意事項(3)</li> </ul>
情報	<p>○施設の情報や秩父地域の観光情報を集めながら、活動計画を立てる。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客に人気らしいよ。</li> <li>・班別行動のときは、みんなで助け合ってがんばろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行で訪問する施設や場所をガイドブックや ICT 端末等を使って調査できるようにする。</li> <li>・散策する市街地や大型公園内で行ってみたい場所を話し合い、時間の見通しをもって班別行動の計画を立てられるようにする。 編 P188 指導計画作成の留意事項(4)</li> </ul>
情報	<p>○修学旅行で秩父の魅力を探る。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長瀬の岩畳や自然、きれいだな。</li> <li>・クライミングって、面白いね。</li> <li>・秩父の木を使って、自分で作ったポテくまコースター、お土産にしようっと。</li> <li>・この和菓子、みんなに食べてほしいな。</li> <li>・今まで知らなかったけど、楽しい場所がいっぱいあるね。</li> <li>・食べ歩きマップ、僕たちのために特別に作ってくれたんだって。</li> <li>・旅館やお店の人たちがみんな親切だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとでの修学旅行を「観光客の目線」で楽しみながら、地域の人々とふれあいを通じて「秩父の魅力」の再発見につなげられるようにする。 事例のポイント① 実践例 1 を参照</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の場面を各自が描いた絵を画像として、パンフレット作成の際に、各児童の表紙に使用する。 編 P188 指導計画作成の留意事項(3)</li> </ul>
整理	<p>○修学旅行を振り返り、思い出に残った場所や出来事を話し合う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の自然を生かしたアスレチックが、とってもおもしろかったな。</li> <li>・ラインくだりもまたやりたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Yチャートで「場所」「もの」「出来事」の観点で情報を整理したり、関連付けたりしながら話し合い、気付いた秩父の魅力を明確にできるようにする。</li> <li>○①（活動の様子・発言・ワークシート） 編 P188 指導計画作成の留意事項(3)</li> </ul>
表現	<p>○姉妹都市(アメリカ)の小学生におすすめの場所を紹介する構想を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいけど、挑戦してみよう！</li> <li>・アメリカの小学生に、秩父の魅力が伝わるといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想をもとに、外国語の授業で児童の英語でのスピーチを録画し、アメリカの小学校と交流する。</li> <li>・修学旅行で撮影した写真を使いながら、秩父でおすすめの「場所」や「もの」について紹介できるようにする。</li> </ul>

整理	<p>○これまでの学習を振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父のいいところが見つかったよ。</li> <li>・秩父について、もっと詳しく調べたい。</li> <li>・たくさんの人に秩父の魅力を伝えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行での体験や気付きを、秩父の魅力を深く考えていくきっかけとして捉えられるようにする。</li> <li>・外国語の授業で秩父を紹介した経験をもとに、外部に発信していくことにも目を向けさせる。</li> </ul>
課題	<p><b>課題②秩父の特徴やよさについて理解を深めよう</b></p> <p>○より詳しく調べたい場所やテーマを考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい和菓子や食べ物をまとめたい。</li> <li>・芝桜のように秩父で花を楽しめる場所をもっと知りたいな。</li> <li>・秩父夜祭について調べて、僕がやっている太鼓のことも書きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行後のYチャートを生かすとともに、修学旅行で訪れなかった場所や今までに経験した祭りや伝統産業などをテーマにすることも認める。</li> <li>・単元のゴールとして、観光客に秩父の魅力をを紹介することを伝える。</li> <li>・どのような活動をしていくのか、学習の見通しをもつことの重要性も指導する。</li> </ul> <p>○<b>思・判・裁</b>① (活動の様子・ワークシート)</p> 
情報	<p>○関心に沿って、情報を集める。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型公園は、親子で楽しめる場所がたくさんあるね。</li> <li>・秩父にはお祭りがたくさんあるね。</li> <li>・神社以外だけじゃなくて、札所も歴史があるね。</li> <li>・わかったことは増えたけど、どうやったらうまくまとめられるかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一体的に利用できる学校図書室と多目的ルームを活用して司書教諭補助員とも連携しながら、紙媒体とICT端末の両方を使った情報の収集ができるようにする。</li> <li>・家庭とも連携して学習を深めることができるように、学年だよりで取組を周知し、家族にも支援を依頼する。</li> </ul> 
整理	<p>○どうやって魅力を伝えるかを考えて、学習の見通しをもつ。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットはたくさんの人に見てもらえるけど難しそうだし、ちょっと怖いな。</li> <li>・パンフレットや新聞なら、国語でも習ったし、お店に掲示してもらえるかも。</li> <li>・まとめ方のポイントを知りたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に秩父の魅力を知ってもらうことは、修学旅行に協力してくれた地域の人々への恩返しにもなることを意識させ、活動の動機付けをする。</li> <li>・国語での学習と関連付けながら、紙面でまとめる方法やその利点を考えられるようにする。</li> <li>・2学期は個人でパンフレットを作成し、3学期はグループで壁新聞を作ることを伝える。</li> </ul> <p>編 P188 指導計画作成の留意事項(4)</p>
情報	<p>○新聞作りの技を学ぶ。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メリハリが大切なんだね。</li> <li>・見出しって文章だったんだ！</li> <li>・記事は逆三角形で書くんだって。</li> <li>・資料の丸写しは、ダメだって。</li> <li>・質問では「1番」を聞くのが大切だって。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>埼玉県NIE推進協議会に協力を依頼して、紙面のまとめ方のポイントについて、オンラインで出前授業を実施してもらう。</b></li> <li>・事例のポイント② 実践例2を参照</li> </ul>
整理	<p>○オンライン授業の振り返りをする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要なことは先に書くんだね。</li> <li>・準備で8割が決まるから、一番大切なのは取材活動なんだね。</li> <li>・著作権のことも考えないといけないね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進協議会側が用意したワークシートに、メモを取りながら取材の練習ができるようにする。</li> <li>・学級全体でオンライン授業内容の振り返りを行うことで、要点の確認と情報の均一化を図る。</li> <li>・まとめる時のポイントを確認しながら、よい紙面を作るためには準備や取材活動の大切さを強調し、これからの情報の収集が大切なことを認識させる。</li> </ul>
情報	<p>○自分のテーマに沿って、取材活動を進める。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは本で調べてから、インターネットを使おう。</li> <li>・まとめに使えそうな内容は、色鉛筆でわかりやすくメモしておこう。</li> <li>・今、使っているパンフレットのまとめ方も参考になりそうだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞づくりの技で学んだことを生かして、見通しをもって情報収集に取り組めるようにする。</li> <li>・目的や調査の段階に合わせて、紙媒体の資料やICT端末の利用などの調査方法を選べるようにする。</li> <li>・調べた情報をワークシートに整理してファイルに蓄積させ、調べ学習の中間地点で児童同士の情報交換ができる時間を設ける。</li> </ul> <p>○<b>思・判・裁</b>② (活動の様子・ワークシート)</p>



<p>情報</p> <p>整理</p> <p>整理</p>	<p>○他の街を調べて、比較してみよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの6年生が修学旅行をしていた鎌倉や江の島と比べてみたいな。</li> </ul> <p>○藤沢市について調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館があるんだね。</li> <li>・お刺身やしらす丼、おいしそう。</li> <li>・江の島にも有名な神社があるんだね。</li> </ul> <p>○藤沢市と比較しながら、秩父の魅力を明確化する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらも古い神社があるね。</li> <li>・山や川と海の違いはあっても、どちらも街の自然を生かしているんだね。</li> </ul> <p>○秩父の魅力を考えよう(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山や川などの「自然」じゃないかな。</li> <li>・祭りや食べ物もいいよね。</li> <li>・秩父に住んでいる人たちは、秩父の魅力をどう考えているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の魅力に理解を深めるために、他の街を調べて比較してみようことを教師から提案する。</li> <li>・自然環境などを比較しやすい海のある観光地を選定する。</li> <li>・短時間で要点をつかみやすい紙媒体の資料を用いる。</li> <li>・藤沢市と秩父の観光地や食べ物を話し合いながら、それらの共通点と相違点を挙げることで、秩父の魅力をよりはっきりと捉えられるようにする。</li> </ul> <p>○<b>思・判・表</b>③ (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行後にまとめたYチャートを確認し、秩父の魅力を一旦まとめられるようにする。</li> <li>・藤沢市との比較したことで「場所(環境)」や「もの」に児童の思考が集中しやすいので、教師から視点を広げて魅力を考える必要性を投げかける。</li> </ul>
<p>課題</p> <p>情報</p> <p>整理</p>	<p><b>課題③秩父の魅力をインタビューで取材しよう</b></p> <p>○ゲストティーチャーへのインタビューを計画する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の魅力を質問してみよう。</li> <li>・どうして、ぼくたちの修学旅行に協力してくれたのかな？</li> </ul> <p>○インタビューをする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の1番の魅力は何だと思いますか？</li> <li>・なぜ修学旅行に協力してくれたのですか？</li> </ul>  <p>○インタビューの成果を伝え合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな秩父が大好きで、人のつながりを大切にしているね。</li> <li>・秩父の新しい魅力に気づけたぞ。</li> <li>・お互いに教え合えて、よくわかったね。</li> <li>・これなら、いいまとめができそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューを通じて、新たな「秩父の魅力」と「地域の人とのつながり」に気付けるようにする。</li> <li>・児童が進行や質問ができるように準備させる。</li> <li>・<b>インタビュー対象は以下の4人とし、ねらいを児童にもゲストティーチャーにも明確に共有する。</b> ①本校校長 ②商店街理事長 ③地域DMO ④旅館女将</li> </ul> <p>編 P188 指導計画作成の留意事項(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>4教室で、4人に対するインタビューを同時進行し、グループごとに1名の教員が同行して指導する。</b></li> <li>・代表児童がICT端末でインタビューを撮影し、くり返し見直せるようにする。</li> </ul> <p>事例のポイント③ 実践例3を参照</p> <p>○<b>知・扱</b>② (活動の様子・振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が参加しなかった相手の情報も児童同士で取材することで、内容を共有し、聞き取りの誤差を修正することができるように指導する。そのために、インタビューに同行した教員がTTで指導する。</li> </ul> <p>○<b>知・扱</b>① (発言・振り返りカード)</p>
<p>課題</p> <p>情報</p>	<p><b>課題④秩父の魅力を伝えるパンフレットを作成しよう</b></p> <p>○秩父の魅力を観光客に伝えよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞作りの技を生かして、分かりやすいパンフレットを作るぞ。</li> </ul> <p>○これまでの情報収集を振り返り、パンフレット作りの計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を大きく使うと見やすいね。</li> <li>・インタビューで聞いた◆◆について、もう少し調べてみよう。</li> <li>・▲▲さんと情報交換したら、自分とは違う見方があったよ。</li> </ul>	<p>編 P188 指導計画作成の留意事項(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、オンライン授業で学習したことを確認する。</li> <li>・修学旅行などで自分が体験したことを記載することで、内容が充実することに気付けるようにする。</li> <li>・文の丸写しや写真の転載に関連して、著作権についても指導する。</li> <li>・パンフレット全体の構成を考えられるようにする。</li> <li>・不足している情報の収集や確認だけでなく、藤沢市との比較やインタビューによって気付いた点を振り返る時間としても活用する。</li> <li>・必要に応じて、児童の情報交換の時間と場を設け、お互いの学習成果を役立てたり、補完したりすることができるようにする。</li> </ul>

表現	<p>○各自でパンフレットをまとめる。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力が伝わるパンフレットにするぞ。</li> <li>・見出しを考えるって難しいな。</li> <li>・色の使い方を工夫してみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に時間を確保し、落ち着いてまとめができるように配慮する。</li> <li>・作業が進まない児童には、調査に使ったパンフレットを手本として示し、作成のイメージやレイアウトの整え方がイメージできるようにする。</li> <li>・各自がまとめた秩父の魅力について、パンフレットを用いながら発表会をする。パンフレットはデータ化することで、各児童が手元のタブレットで閲覧できるようにする。</li> <li>・相互評価を実施し、分かりやすいパンフレットを作成した児童と発表が分かりやすかった児童を選ぶ。選ばれた児童は、今後の活動のリーダーにする。</li> </ul>
課題	<p style="text-align: center;"><b>課題⑤秩父の魅力を観光客に伝えよう</b></p> <p>○これまでの学習を振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのパンフレットが完成したよ。</li> <li>・まとめ方や発表が上手な人がいたね。</li> <li>・みんなで力を合わせたら、もっといいものができるんじゃないかな。</li> </ul> <p>○グループごとに秩父の魅力を紹介する掲示物を作るテーマやレイアウトを話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お祭り」をテーマにしたらどうかな？</li> <li>・パンフレットでまとめた内容をうまく使えないかな？</li> </ul> <p>○各グループのまとめのテーマやレイアウトについて情報交換をし、テーマやレイアウトを決定する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのパンフレットを生かして、幅広い情報が載った掲示物にしよう。</li> <li>・僕たちは「自然」をテーマにするけど、季節ごとに担当を決めて分担しよう。</li> </ul> <p>○グループごとに模造紙に秩父の魅力をまとめる。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しや写真を大きくした方がもっと見やすいんじゃないかな？</li> <li>・こっちの表現の方がわかりやすいよ。</li> </ul> <p>○発表会の準備をする。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備が大切だから、しっかり練習！</li> <li>・みんなできると心強いな。</li> </ul> <p>○「秩父の魅力再発見！ふるさとPR大作戦」発表会をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習の成果が発揮するぞ！</li> <li>・どこに選ばれるか、ドキドキするな。</li> </ul> <p>○これまでの活動を振り返る。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父っていいところがたくさんあるな。</li> <li>・これからも秩父に住みたいな。</li> <li>・これからも挨拶をしっかりするぞ！</li> </ul>	<p>○<b>④</b> (活動の様子・成果物)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の相互評価をもとに選んだ「制作リーダー」と「発表リーダー」を中心にして、5～6人のグループを編成して、活動する。</li> <li>・各グループで模造紙2枚にまとめるように指示し、その内容やまとめ方はグループで話し合いながら作り上げられるようにする。</li> <li>・各自が作成したパンフレットを生かしながら、グループとしての活動のよさが出せるように、紙面の構成・レイアウトと役割分担の大切さを指導する。</li> <li>・「制作リーダー」に選ばれた児童が活動の中心になって、グループの意見を出し合ったり、まとめたりできるようにする。</li> <li>・各グループから1人ずつ集めたグループを作って情報交換ができるようにする。</li> <li>・集めた情報を元のグループで話し合い、作成するテーマやレイアウトなどを決定できるようにする。</li> <li>・新聞作りの授業を生かして、紙面の構成とレイアウトを意識して、分担ができるようにする。</li> <li>・役割分担に基づいて、学び合いながら活動を進められるように支援する。</li> <li>・3時間程度が経過したところで、グループごとに振り返りの時間を設定し、進行状況や計画の修正、新しいアイデアなどを確認する。</li> </ul> <p>○<b>②</b> (活動の様子・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全員で分担して発表できるようにする。</li> <li>・「発表リーダー」を中心として、発表の準備や練習ができるように支援する。</li> </ul> <p>・発表会には、展示していただく施設の関係者を招き、各施設に展示する作品を選んでもらい、講評をしてもらえるように依頼する。</p> <p>○<b>③</b> (発表・振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習の成果を確認するとともに、地域社会の一員として、これからの自分にできることを考えられるようにする。</li> </ul> <p>○<b>③</b> (活動の様子・ワークシート)</p>
整理		
表現		
表現		

## 7 実践例

※「カリキュラム・マネジメント」の基本的な考え方については、編成要領P5(3)を参照

### 【実践例1】視点を変えた活動やふれあいを通じて、ふるさとの魅力に気付く「情報の収集」

#### (1)「社会に開かれた教育課程」と「カリキュラム・マネジメント」の視点

生活様式の変化に対応しながら児童の願いと学校・教師のねらいに迫るために、地域の特性を生かした修学旅行を作り上げ、今後の総合的な学習の時間の核とするとともに、他教科の学習とも関連付けることを意識して構成した。

同一公園内にあるカート体験コースと秩父の自然を生かしたアスレチック施設



#### 学校教育目標：かしこく・あたたかく・たくましく

安全・安心で元気あふれるチーム●●小学校

(一人ひとりのよさや可能性を伸ばすため、全職員が総力を結集し、家庭・地域と連携・協働する学校)

- 【学校・教師のねらい】
- ◎安心・安全で児童の思い出に残る修学旅行の実施
  - ◎自分で考え、判断し、主体的に行動する態度の育成
  - ◎郷土愛と地域の一員としての自覚の育成

#### 【地域との連携】

- 地域の教育資源（観光情報、人材、など）などの洗い出し
- 学校教育と地域の街おこしの融合  
＝ 地域の観光施設、旅館等との交渉と全体のプラン作りと調整
- 地域DMO（観光地域づくり法人）への引継ぎ

#### 【教科横断的な視点】

- 児童が身に付けた力を発揮する場面づくり
- 各教科で活用できる体験や経験の組み込み
- 終了後の総合的な学習の時間の核となる行事としての構成

#### 【地域の実態】

- ・豊かな自然に恵まれた観光地
- ・都心へのアクセス利便性＝多くの観光客
- ・歴史ある寺社・顔がつながる地域性
- ・数多くの旅館や宿泊施設・商店街

#### 【学校・児童の実態】

- ・修学旅行という行事の価値と児童の期待
- ・身近すぎて児童が気付かない秩父の魅力
- ・秩父市街地に立地する学校環境
- ・日帰りの旅行（R2年度）でできた人脈



旅館は貸切対応。キャンプファイヤーも実施。

新型コロナウイルスの感染拡大防止→例年通りの修学旅行はできない＝カリキュラム・マネジメントの機会・必要性

### (2)授業の様子

#### ①修学旅行



長瀨の岩置ってすごい！ラインくだりで初めて見た観光客は、きっと感動するよ。

ボルダリング、楽しかった！またやりたいし、いろんな人に体験してほしい。



「ボテくまくん弁当」おいしいな。地元の高校生がレシピを考えただって！



こうやって秩父の素材で作ったお土産物。お客さん、絶対喜んでくれるね。

お店の人は親切な人ばかり。秩父には、こんなおいしい和菓子や飲み物があったんだね。もっとみんなに知ってほしいな。



#### ②児童の振り返りより

##### 2. 1日目の感想を書きましょう。

今日私が一番に思ったことはフォレストアドベンチャーです。とてもおもしろくてスタッフさんがこつこつ教えてくれたり自分自身でもがんばりました。そしてそのスタッフの叔にもお礼に感謝の気持ちを感じました。その他に色々なお土産がサポートして下さり協力して下さり感謝をしっかりと伝えたいと思います。帰りのバスでみんなと話をしました。みんなとても協力してくれて良かったです。三日目も健康で、色々な行動をしたいです。

##### ④修学旅行2日間をふりかえって感想をまとめましょう。

フォレストアドベンチャーが一番楽しかったです。最初は、むずかしいと感じたけど、楽しかった。そして、帰りのバスでも、色々なお土産を買って帰りました。また、地元の高校生がレシピを考えただって！

##### ④修学旅行2日間をふりかえって感想をまとめましょう。

私は2日間、楽しかったです。色々なお土産を買って帰りました。また、地元の高校生がレシピを考えただって！

## 観光客の視点で地域にふれて 魅力を再発見する修学旅行

#### ③実践のまとめ

観光客の視点でふるさとを巡ることで、児童が今まで気付かなかった「秩父の魅力」を再発見することができた。また、地域での活動とふれあいを通じて、ふるさとへの愛着や人々への感謝の心を育てていた児童も多かった。さらに、外国語など他教科との関わりを意識していたことがわかる感想も見られた。学校側のねらいを達成するとともに、児童にとっても思い出に残る行事となった。



【実践例2】調査活動の重要性を再認識するための外部機関と連携した「情報の収集」

(1) 「社会に開かれた教育課程」と「カリキュラム・マネジメント」の視点

本単元では「秩父の魅力」を観光客に紙面で発信することがゴールとなっている。今回の授業では、外部機関と連携することで専門家からより効果的なまとめ方の要点を学ぶだけでなく、取材活動の重要性に気付かせ、今後の情報の収集や探究活動の質的向上を図り、学習全体の道標とすることを意図して設定した。

総合的な学習の目標		本単元の目標
【教師のねらい】		◎単元のゴールとしてわかりやすく紙面にまとめるための技術の学習。 ◎より良いまとめを作り上げるための取材活動の重要性の認識。
【外部機関との連携】	●連携の可能性のある外部機関のリストアップと選定 ➔連携先の決定（埼玉県NIE推進協議会・事務局埼玉新聞社） ●外部機関との授業づくり ・授業と連携の目的の共有、授業方法の検討 など	【実施に向けた校内の調整】 ●実施に向けた準備 ・会場、実施時間、機材等の調整 ●指導体制の調整・教員の確保 ●オンライン授業のテスト
【児童の実態・これまでの学習活動の指導と評価】		
○「秩父の魅力」を上手に伝えたい。		○他教科での学習経験（新聞作り・作文など）
▲HPや本の情報を書き写す情報の収集		▲まとめることへの苦手意識や不安感

(2) 授業の様子 ①埼玉県NIE推進協議会（事務局・埼玉新聞社）によるオンライン出前授業

②オンライン出前授業の振り返り

新聞から学ぶ伝える技

① 見出しは記事の内容を一言で伝えること。見出しは記事の要約である。

② 見出しは、記事の中心となる言葉やキーワードを捉えること。

③ 見出しは、記事の趣旨を伝えること。

④ 見出しは、記事の重要性を伝えること。

⑤ 見出しは、記事の魅力を伝えること。

⑥ 見出しは、記事の面白さを伝えること。

⑦ 見出しは、記事の価値を伝えること。

⑧ 見出しは、記事の魅力を伝えること。

⑨ 見出しは、記事の面白さを伝えること。

⑩ 見出しは、記事の価値を伝えること。

聞き取りの誤差を調整し、要点を共有。



課題 新聞づくりの授業を振り返ろう

最も大切なのは **取材活動**

① 伝えるための3つの工夫と技

その1 メリハリのおおしやり

その2 見出しは **最も短い文章** (主語+述語)

その3 記事は **逆三角形**で書く  
重要なことを先、説明はあとからつける

② 実践の前に **もくじ**は準備で8割決まる

③ 写真の撮り方

④ カメラをしっかり持つ、ふだれ注意

⑤ 何と何が、見出しを思い浮かべながら

⑥ 主役を大きく、上下、横、ななめから  
➔考えておらてどる

⑦ 取材のポイント

5W 1H

What 何が Why 何故

When いつ Who だれが

Where どこ How どのように

③児童の学習プリントより

② これからの総合（調べ学習やハツルツくりなど）や他の授業や普段の生活で、この勉強をいかせそうなことや、これから気をつけたいことを書きましょう。

よく写真をとりやすいが、そのために、こたえをもらわないので、今度からは下からとりにおろすかなと思えました。

よく写真を撮るときは、最初にこれとこれと撮るべきか、できないので、これからいろいろなことを取材したいです。

③ 新聞づくりの授業の感想を書きましょう。

知らなかった新聞の作り方やコツが分かったのがよかったです。

ちゃんとメリハリが作れて、見出しは短くわかりやすいようにして、内容をよくわかってわかりやすい新聞がでるようになったらいいです。

そのためには、準備をしっかりしなくてはいけません。

わかりました。

③実践のまとめ

新聞社と授業づくりを進める上で、「取材活動の重要性」は当初から認識を共有することができた。そのことを、新聞社の専門的な立場で伝えてもらったことで、教員が伝える以上の効果が得られた。児童の記述にもまとめ方の要点を整理したり、取材や準備の大切さを理解したりして、その後の活動への意欲を高めている様子が伺えた。また、その後の情報収集の場面でも資料の丸写しではなく、要点をまとめながらメモをする姿が見られ、この授業の成果が感じられた。

### 【実践例3】地域人材と校内指導体制を生かした児童の多様な気づきを引き出す「情報の収集」

#### (1) 「社会に開かれた教育課程」と「カリキュラム・マネジメント」の視点

各児童なりの「秩父の魅力」が頭の中でまとまり始めた段階で、それまでと違う視点を与えるとともに、地域つながりを実感するために地域人材を活用したゲストティーチャーへのインタビューを実施した。また、この場面に関わる数時間を複数教員で指導することで、様々な観点からの指導や助言を児童に与え、児童の多様な気づきを引き出せるように連携した指導を実施した。

総合的な学習の目標		本単元の目標
<b>【教師のねらい】</b> ◎より多様な視点から「秩父の魅力」の思考。 ◎ふるさとに住む「人」の魅力に気づき、地域社会の一員としての自覚を養う。		
<b>【授業の構成】</b> ・ゲストティーチャーは、4教室に分かれて、取材に対応。各グループに教員が同行。 ・児童は、インタビュー対象を2名選ぶ。授業の前・後半で20分ずつ、教室を移動して取材。 ・まずはゲストから5～10分程度の話。その後、児童との質疑応答（インタビュー活動）。		
<b>【地域人材の活用】</b> ●ゲストティーチャーとなる地域人材のリスタアップ →スケジュール調整と決定 →授業依頼 ●授業の打合せ（目的の共有・児童の質問内容の提供）	<b>【学校の資源（人・もの）の活用】</b> ●計画的な時間割作成 = 弾力的な複数教員での指導体制 ●活用できる教室の調整 ●教員同士の情報共有（目的の共有、役割分担）	
<b>【児童の実態・これまでの学習活動の指導と評価】</b> ○「秩父の魅力」に対する思考の一定のまとまり      ▲「秩父の魅力」を考える視点の固定化・偏り →各児童なりの「秩父の魅力」：秩父の魅力は、自然や歴史（魅力をとらえる視点が「場所」や「もの」へ集中）		

#### (2) 授業の様子 ①インタビュー授業の様子



**観光地域づくり法人 (DMO) 事務局長**  
事務局長さんも、この学校の卒業生なんだ！いろんなつながりがあるんだね。



**商店街 理事長**  
シンガポールでわらじカツ丼を作って、秩父の魅力をPRしたんだって。



**旅館 女将**  
僕らには普通のことだけど、東京から来たお客さんは空気のおいしさや景色のきれいに驚くんだって。



**本校校長**  
6年生になる前から、たくさんの人が私達の修学旅行を考えて協力してくれたんだ。うれしいな。

#### ②インタビューの成果を共有する授業の様子

私が開けなかった校長先生の取材でわかったことを教えて。 一緒に活動した先生がいるから、インタビュー内容を確認できるね。

#### ③児童の変容

##### インタビュー前後の学習プリントより

①あなたが考える秩父の魅力について、まとめてみましょう。  
 秩父の魅力は、みんなが大好きなことをいかに楽しめようかを見つけている。

私はメモに書けなかったことも、覚えていてすごいなあ。

いろんな人が教えてくれたから、たくさんの魅力に気付けたね。

②インタビュー授業のふりがえりを書きましょう。(感想・発見・気づき)  
 秩父は自然がきれいだと思ってるけど、自然をより楽しむには、自然とつながることを大切にしたい。自然の恵みを活かして、地元の人とつながりたい。

③あなたが考える秩父の魅力について、まとめてみましょう。  
 秩父の魅力は、自然や歴史が魅力だと思います。

#### ④実践のまとめ

インタビューを通じて、新たな魅力に気づき、人のつながりを実感した児童A。児童Bは、当初否定的だった秩父への印象が学習を通じて、大きく変容したことを記述している。また児童Cは、地形や都心との距離感にも視野を広げていた。また複数教員による指導体制についても、インタビューの運営面だけでなく、児童に多様な気づきを促す意味でも効果的だった。参加したゲストティーチャーからも、授業後には肯定的な意見が聞かれた。児童、学校、地域のそれぞれの立場で肯定的な声があがったことは、この授業実践全体の大きな成果と考える。

④あなたがパンフレットで伝えたい「秩父の魅力」は何ですか？  
 秩父の魅力は、自然や歴史が魅力だと思います。

④あなたがパンフレットで伝えたい「秩父の魅力」は何ですか？  
 自然や歴史が魅力だと思います。

⑤インタビュー授業のふりがえりを書きましょう。(感想・発見・気づき)  
 秩父は自然がきれいだと思ってるけど、自然をより楽しむには、自然とつながることを大切にしたい。自然の恵みを活かして、地元の人とつながりたい。

児童C